

会 議 録

会議の名称	第1回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会
開催日時	平成31年4月12日(金) (午前・ 午後) 2時00分 開会 (午前・ 午後) 4時30分 閉会
開催場所	南館中会議室
議長	山本 博史 氏 (追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 教授)
出席者	<p>【評価委員】 山本博史氏(追手門学院大学地域創造学部教授)、百瀬真友美氏(特定非営利活動法人いばらき市民活動推進ネット)、高田和子氏(東奈良コミュニティセンター会計)、板倉幸司氏(公募市民)、中野利絵氏(公募市民) (5人)</p> <p>【事務局】 上田市民文化部長、小西市民文化部次長、富崎市民協働推進課参事、三河市民協働推進課職員 (4人)</p> <p>【担当課】 人権・男女共生課、中央図書館、商工労政課、まち魅力発信課、こども政策課、環境政策課、保健医療課 (7課)</p>
開催形態	一部公開(傍聴者:0人) ※議題の(4)意見交換以降は非公開
議題(案件)	<p>(1) プレゼンテーションについて</p> <p>(2) 各団体によるプレゼンテーション</p> <p>(3) 質疑応答</p> <p>(4) 意見交換</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会次第 ・平成31年度 茨木市提案公募型公益活動支援事業 申請事業一覧及び申請書類 (※個人情報を含むため省略)

○事務局 お忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

ただいまより平成31年度第1回目の「茨木市提案公募型公益活動支援事業評価委員会」を開催させていただきます。

まず始めに、市民文化部長の上田からご挨拶申し上げます。

(上田部長 挨拶)

○事務局 本日は、委員改選後第1回目の委員会ということで、机に委嘱状を置かせていただいております。今回初めて委嘱させていただきます方もいらっしゃいますので、皆様一言ずつ、資料1の委員名簿順に自己紹介をお願いいたします。

(委員名簿順 挨拶)

○事務局 皆様、よろしくお願いいたします。続きまして、資料2の「規則」をご覧ください。第6に「委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。」となっておりますが、本日、委員長が選任されるまでの間、事務局として、課長の「小西」が会議を進行させていただきます。よろしくお願いいたします。

○小西次長 それでは、委員長が決定するまで進行役を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。早速ですが、次第3の「委員長・副委員長選出」について協議いたします。事務局、説明をお願いします。

○事務局 当委員会の委員長の選任につきましては、「規則」第5により、委員の互選となっておりますが、皆様には、本日初めてお集まりをいただいております、各委員をご承知でない方もおられると思いますので、事務局から推薦という形でご提案させていただいてもよろしいでしょうか。

(各委員 異議なし)

○事務局 今回、事務局といたしましては、大学教員として各種の委員会の委員長等を経験され、本委員会についても前期の委員長を勤めていただきました山本委員を推薦したいと考えております。

○小西次長 事務局から山本委員が推薦されましたが、皆様いかがでしょうか。

(各委員 異議なし)

○小西次長 異議なしとのことですので、委員長に山本委員を決定いたします。それでは、委員長が決定いたしましたので、進行役を交代させていただきます。どうもありがとうございます

いました。山本委員長よろしくお願ひいたします。

それでは、委員長、一言お願ひいたします。

(山本委員長 挨拶)

○事務局 ここからは、山本委員長に進行をお願ひいたします。

○山本委員長 それでは初めに、副委員長を選出したいと思ひます。委員長と同様に互選となっておりますが、私の方から推薦したいのですがいかがでしょうか。

(各委員 異議なし)

○事務局 それでは、市民活動に精通しておられる百瀬委員を推薦いたします。皆様、いかがでしょうか。

(各委員 異議なし)

○山本委員長 それでは、百瀬委員よろしくお願ひいたします。次に、次第4の「会議の公開・非公開」についてを議題といたします。事務局から説明をお願ひします。

(会議・非公開説明。資料3)

○山本委員長 事務局から説明のありましたとおり、原則、会議は公開されますので、今後とも、個人情報などの部分以外は公開ということでよろしいでしょうか。もし、会議の途中で公開できない案件が出れば、その都度、協議・決定ということでいかがでしょうか。

(各委員 異議なし)

○山本委員長 それでは、会議公開、非公開については、原則公開ということで決定いたします。傍聴の方がおられれば、入場してください。

(傍聴なし)

○山本委員長 「委員会の概要」についての説明を事務局からお願ひいたします。

○事務局 本日の委員会の概要をご説明申し上げます。

平成31年度の当該補助金交付団体の募集ということで、3つのテーマ設定型事業及び自由テーマ型事業について、3月1日～3月29日までの期間で募集を行いました。その結果、人権男女共同参画事業1件、少年少女スポーツ大会事業1件、文化芸術振興事業7件、自由テ

テーマ型事業 15 件の申請がありました。申請のあった事業については、当該評価委員会で書類及びプレゼンテーション審査を行い、その結果を意見として市に提出いたします。合計 24 件を、本日 12 日に 7 件、15 日に 8 件、19 日に 9 件と 3 回に分けてプレゼンテーションを実施し、委員各位の評価をいただく予定としております。事業実施期間が 5 月 1 日からとなっておりますので、評価結果につきましては、プレゼン終了後にご提出いただきたいと思いますと考えております。

時間につきましては、プレゼンテーション 5 分、質疑 5 分とさせていただきます。各テーマごとに評価基準が異なりますが、選考基準点は、いずれも 6 割です。

本日の委員会の概要説明は以上です。よろしく願いいたします。

○山本委員長 ありがとうございます。それでは、説明のありましたように、プレゼンテーション及び評価を行い、その集計結果を委員会の意見として市へ報告したいと思えます。

また、会議の公開・非公開につきましては、自由な意見交換という観点から、次第の「意見交換」以降は非公開といたしたいと存じますが、いかかでしょうか？

(各委員 異議なし)

○山本委員長 それでは、プレゼンテーションを始めたいと思えます。

<団体入室>

○事務局 持ち時間は 5 分とさせていただきます。30 秒前に一度ベルを鳴らしますのでまともに入っただき、5 分が経過時点で再度ベルを鳴らしますので、終了していただきますようお願いいたします。

それでは準備がよろしければお始めください。

<プレゼンテーション①>

テ ー マ：自由テーマ型事業 申請事業：作って遊ぼうデジタル画像（新しい形の読み聞かせ） 申請団体：デジタル絵本サークル「ルピナス」
--

○山本委員長 プレゼンテーションは以上です。質疑をお願いいたします。

【評価委員との質疑】

・収入予算書にワークショップの参加費とあるが、事業計画書の内容によると、上演 2 回、ワークショップ 3 回であっているか。

→集客により実際の回数は未定。

・ワークショップ 3 回の計画も暫定か。

→参加費の250円も含めて暫定である。図書館は無料で部屋を使用できるので、参加費も無料になる可能性もある。

- ・年間の計画はできるだけ具体的に計画していただきたい。
- ・収入の会費で1,000円×5人、支出の部屋使用料として250円×24回とあるが、団体の運営に係る収支全て記載しているのか。
 - している。
- ・事業のための補助金であるので、会の運営と事業の収支を別にすべきである。
- ・昨年度は何回ぐらい開催したのか。
 - 2回ほどである。
- ・1回あたりの参加者人数は。
 - 子ども15人、親を含めて30人ほどである。
- ・広告方法は。
 - 市民活動センターでチラシを出してもらっている。

○山本委員長　それでは、担当課に本事業に関しまして、意見をお願いいたします。

【市民協働推進課の意見】

- ・デジタル化することにより聴衆の幅が広がる。絵のクオリティも高く以前拝見させていただいたこともあり期待している。今後も是非広がってほしい。

※以下、質疑及び担当課意見のみ記載

<プレゼンテーション②>

テ　　マ：人権・男女共同参画事業

申請事業：パパママワークショップ～育児と良好な夫婦関係の構築～

申請団体：特定非営利活動法人 和の心

【評価委員との質疑】

- ・補助回数は3回までだが、補助金がなくなっても自立して継続していけるか。
 - 多少、参加者にも負担していただくが、足りない分は自己負担となる。この活動を周知していくことで協力していただく人や企業を見つけたい。
- ・事業内容にあるワークショップとは具体的にどのようなものか。
 - 男性はトイレトペーパーの補充等、名前のない家事に意識が薄くなりがちである。チェックリスト等を作成しディスカッションすることにより夫婦の相互理解につなげる。
- ・集客の目標は。
 - 男女25人ずつの50人を目標としている。小さなお子様の保育も可能とし、参加しやすいように心がけている。

・育児と良好な夫婦関係の構築とすると真剣で難しい印象になるので、パパが子どもと遊ぶ方法を教えますというような実際困っている人が500円払ってでも参加したいと思えるような内容に焦点を集めるほうがよいのではないかと。

→検討する。

・パンフレットを100冊予定しているが、完成したら是非ホームページ上で公開してほしい。

→承知しました。

【人権・男女共生課の意見】

・本市において、第二次男女共同参画計画を策定しており、その中の重点施策の一つとして男性にとっての男女共同参画の推進を挙げている。男性にとっての男女共同参画については、伝えにくい事項であり、子育てを通じて柔らかに優しく教えていただくのであれば、とてもよい事業である。

・性別による固定的な役割分担の意識は払拭しにくいですが、身近な家事で伝えていただくのは効果的である。

<プレゼンテーション③>

テーマ：自由テーマ型事業

申請事業：茨ギネス・茨木から世界挑戦！いばらきの復興たまごパスリレー

申請団体：一般社団法人 茨木青年会議所

【評価委員との質疑】

・400人が一列に並ぶのか。

→道幅が4～5mあるので、真ん中の約1.6mをコーンとポールで封鎖し2列に並ぶ。

・飲食店ブース出展料とあるが、どこに出展するのか。

→にぎわい亭のところの駐輪場を受付会場とし、半分は飲食店ブースにする。

・広告料収益の80万円は、見込みはあるのか。

→既に8割ほどは集まっている。

・実施予定は6月30日だが、もう準備を始めているのか。

→広告料が集まり次第、チラシを配布していく予定である。テレビにも取材に来てもらうよう依頼しており、茨木以外にも発信できたらと考えている。

・テストはしたか。

→3月10日に岡山でギネス記録に挑戦しており、見学に行った。体育館で行っていたが353人だったので、今回は400人以上で計画している。

・参加者で400人ということだが、その他に見学者等何人ぐらい来ると予想しているか。

→参加者のご家族や友人等も含めて大勢だと思うが、我々はリレーに参加するのではなく、警備等を行い、学生等にボランティアも募集し安全に行えるよう計画している。

【まち魅力発信課の意見】

- ・まち魅力発信課は、広報誌を作成したり報道提供等をし情報発信をしている課であるのでバックアップできたらと思っている。
- ・収入に参加費とあるが、参加者の年齢に関わらず500円の一律か。
→その通りである。500円をいただくが、オリジナルのスプーンをプレゼントし、商店街でも特典が受けられるよう考えている。

【商工労政課の意見】

- ・今回商店街を舞台にしており、多くの方が商店街に来場される。日常的な場所で新しい楽しいイベントが行われるのは、とても魅力的である。初めての企画で準備等大変だとは思いますが、成功に向けていっていただけたらと思う。

<プレゼンテーション④>

テ ー マ：自由テーマ型事業
 申請事業：ひとり親家庭の学習サポート
 申請団体：サポートユニオン withYOU

【評価委員との質疑】

- ・昨年21人で春からは13人でスタートしているのは、卒業して人数が減ったのか。
→その通り。
- ・定員は。
→20人が理想だが、特に決めていない。
- ・収支予算書の収入では、小学生5人、中学生12人とあるが、事業計画書の対象者には小学生5人、中学生15人とある。中学生を少し低めに想定しているのか。
→現実にそれでやっているが、例年5月頃から増えてくる。できればあと4～5人きてほしいと考えている。昨年の経過では、中間テストが終わったあたりから増えている。
- ・補助金の20万円がなくなることについて、今後どのようにするか考えているか。
→援助していただけるところがあるか情報収集しながら、募集があれば応募していこうと考えている。
- ・PR方法は。
→市の後援をいただき作成したポスターを事務所に貼っているが、市でもPRしていただけたらと思う。ローズWAM等でもチラシをおいてもらっている。
- ・ひとり親家庭だけか。
→限定している。

【こども政策課の意見】

- ・ひとり親家庭の支援を長年されているので有難く思っている。来ている子どもたちの家庭にも課題があるのではないかとこのところ、中学校卒業した子どもたちの家庭で支援が必要であれば何かフォローしていければと考えている。

<プレゼンテーション⑤>

テ ー マ：自由テーマ型事業

申請事業：こどもたちの育ちに寄り添う居場所づくり事業

申請団体：NPO法人 わんだーらんど

【評価委員との質疑】

・継続的にしている事業だと思うが、実施期間は6月からになっている。補助金の対象は5月からだが、5月は予定していないのか。

→子どもたちが過ごしやすい環境をスタッフ間で考えようということになり、1か月間焦らずゆっくり時間をかけて開催しようということになっている。

・昨年も実施され、人数集めが課題だったかと思うが、具体的な改善点はどのようなところか。

→昨年は対象を課題を抱えている子どもに集中したことで、SNS等による広報を少し自分たちでも遠慮してしまった。今年度は、対象を少し広げ誰でも来やすい場所になるようやってみようと考えている。

・収支予算書の支出に広報に関する経費が記載されていない。広報はどのような方法を考えているか。

→昨年度は広報にほとんどお金をかけておらず、茨木市在住のお子様を対象としているので、広報に掲載していただいたり、ホームページやSNSに載せたりした。学校と連携することにより、学校の先生に事業を理解していただき、保護者にチラシを配っていただくような方向で検討している。

・事業内容は週1回となっているが、予算上は月3回となっているが。

→週1回ですが、第2、第3及び第4木曜日に開催する予定。

・小学生はあまり遠出できない。やはり広報も小学校と連携することが一番効率的だと思う。

→昨年度連携した小学校は一つだけであった。3つの校区があるはずなので、今年度はあと二つの学校に出向いて連携していけたらと考えている。

【こども政策課の意見】

・子どもたちの居場所は多ければ多いほど良い。多くの方に知っていただき、この事業につながってってもらえればと思う。2年目になり周知する点において、何かご協力できればと考えている。

<プレゼンテーション⑥>

テ ー マ：自由テーマ型事業

申請事業：市民対象のための講演会

申請団体：特定非営利活動法人地球環境再生機構

【評価委員との質疑】

- ・収支予算書の講師料のところ、3万円×5、3万円×4回とあるが。
→3万円×4回の間違いである。
- ・人件費に千円×12人×4回とあるが、12人は延べ人数か。
→各回12人である。1時間でも2時間でも働いてくれた人に千円渡すことにしている。
- ・準備も含めて12人か。
→準備も含めてである。
- ・実際の人数は、4人を3回とかか。
→8人ぐらいである。
- ・通信運搬費で役員3千円×2×4とあるが。
→役員の中に兵庫県から来ている者がいて、交通費を4回分計上している。
- ・通信運搬費ではなく交通費である。募集要領に科目例があるので参考にしてほしい。
→事務局と相談して整理する。
- ・デザイン料5万円とあり、既に出来上がっているようだが、補助金の対象は5月からである。
- ・昨年の参加人数は。
→50人ほどである。
- ・会費5千円で40人とあるが、継続して見込めそうか。
→予想ですが。
- ・昨年も4回開催したのか。
→昨年は5回である。
- ・支出に賃借料とあるが、福祉文化会館の予定か。
→はい。
- ・福祉文化会館で8千円の部屋ではなく、参加人数に見合った部屋があるのでは。
→予定していた部屋が借りられずキャンセルした。
- ・予定している部屋の定員は何名か。
→60～70名である。
- ・昨年もホームページ掲載費を12万円ほど計上していたが、効果は。
→昨年は実際23万円ほどかかった。
- ・ホームページを見て来られた方はどれぐらいいたか。
→ホームページがきっかけかどうかは分からない。
- ・簡単なアンケートをとったらどうか。
→はい。

【環境政策課の意見】

- ・今回テーマとなっている微生物は、環境を良好な状態に維持するために重要な役割を果たしている生物である。この微生物について市民が理解を深めることで、環境に目を向け、関心を持つことで、環境にやさしい取り組みを始めていただくという効果を期待している。

<プレゼンテーション⑦>

テ ー マ：自由テーマ型事業

申請事業：食育講座

申請団体：特定非営利活動法人自然派食育・きちんときほん

【評価委員との質疑】

- ・収支予算書の人件費、報償費及び旅費交通費の内訳は。
→講座は5回程度の予定だが、プログラムによっては、スタッフが大勢必要であったり講師料が高い方をお願いすることがあり積算できない。
- ・収支予算書は事業計画が明確に表れるものであるなので、講師料が高くても低くても詳しく記載してほしい。
- ・事業内容のところ今年はこれから決めますとあるが、税金なのでこのようなことに使うのでこれだけの補助金が必要ということを確認に出していただく必要がある。
- ・応募しようと思ってから実際に申請書を提出するまで、どれぐらいの日数をかけているのか。
→締切の日に申請することを決めた。締切の日の前日にハムの事業を行い、スタッフが大勢必要であった。補助金をいただかないとやっていけないと思い申請することを決めた。
- ・事業は自主的に行うものか。どこかから依頼されて行うものか。
→依頼されて行うこともある。

【保健医療課の意見】

- ・食育は子どもの頃に行うのが大事であり、広く地域で行っていただけるのは有難く頑張っていたきたいと思う。

(山本委員長 所用のため退席、以降百瀬副委員長が進行役)

○百瀬副委員長 以上で、全てのプレゼンテーションが全て終了いたしました。ここで10分程度、委員相互の意見交換をしたいと思います。冒頭で決定しましたとおり、これ以降は非公開といたします。

《以降、非公開》

以上